

## 第9回番組審議議事録

### 1 開催日時

2022年12月8日(木) 11:00～

### 2 開催場所

オンライン(Web会議システム)

### 3 出席者

委員長 菅谷 実様

委員 岩浪 剛太様、野村 宗芳様、木下 のぞみ様、田中 絵麻様

#### 当社側：

代表取締役 石原 収

取締役放送編成本部長 前山 貴志

経営企画本部 堀 憲輔

#### オブザーバー：

株式会社QVC ジャパン Commerce Bu Q Leadership

Schedule Senior Manager 井貝 明子

株式会社QVC ジャパン Commerce Programming

Event Planning & CPM Senior Manager 野口 麻由美

株式会社QVC ジャパン Commerce Programming

Program Planner 坂下 展子

株式会社QVC ジャパン Advertising Compliance

Manager 寺尾 勝

本審議会においては、2つの番組を審議することとし、委員より下記の通り意見がなされた。

(審議対象番組)

① エアーヨーン 自動で膨らむエアーマット

2022年8月3日(水) 0:00 放送

② pierre cardin diffusion

(ピエールカルダン ディフュージョン)

2022年10月1日(土) 0:00 放送

(番組審議委員意見)

① エアーマット 自動で膨らむエアーマット

\* 2022年8月3日(水) 0:00 放送

- ✓ エアーマット購入時に生じやすい不安点や疑問点を丁寧に解消する構成で、商品力の強さが十分に伝わる番組だった。
- ✓ 実演を多用し、空気の入れ方や抜き方、寝心地の違いを繰り返し映像で確認できた点は、視聴者の納得感を高めていた。
- ✓ 実際の使用シーンや利用者の声を紹介され、ECサイトよりもテレビ通販の強みが発揮されていた。
- ✓ 他社と比較すると価格差は一部見られるものの、付属品、保証期間、返品対応など、QVCならではの安心感が明確であった。
- ✓ 一方で、空気を抜く際の所要時間、耐久性、コードの扱いなどについて、より明確な説明があると、さらに理解が深まると感じられた。
- ✓ 注意表示については、注意喚起の理由や具体的なリスクが併せて説明されると親切との意見があった。

〈当社回答・説明〉

- ・空気注入の演出については、間延びしない工夫をしているが、誤解を招かないよう補足説明を行っている。
- ・空気を抜く時間や保証内容について、今後はより丁寧な説明を心掛けたい。

② Pierre cardin diffusion (ピエールカルダン ディフュージョン)

\* 2022年10月1日(土) 0:00 放送

- ✓ 有名ブランドの商品を手に取りやすい価格で提供しており、トレンド性とブランド力の両立が感じられる番組だった。
- ✓ 商品説明が進むにつれてブランドの背景や価値が理解でき、当初関心が薄かった視聴

者にも魅力が伝わる構成だった。

- ✓ 4K放送により、色味や素材感が分かりやすく、ファッション番組としての映像表現は高く評価された。
- ✓ 一方で、煽りと感じられる表現や案内が一部あり、耳障りに感じるとの意見もあった。
- ✓ サイズ展開やユニサイズ採用について、返品率や分かりやすい説明への配慮を求める声があった。
- ✓ 在庫表示や色の切り替え表示について、表示内容とコメントの整合性が気になる場面があった。

〈当社回答・説明〉

- ・アパレル商品の購入判断においてサイズは重要と認識しており、今後はサイズ説明をより強化していく。
- ・返品削減に向けた取り組みも継続して進めていく方針である。

以上

